



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いていて、怖くなかったことがあります。話を聞いて思いうかぶのは、ひどい火傷で、無残な姿になってしまった人達です。でも、実際は、想像とは比べものにならないくらい、ひどいものだと分かりました。聞いているだけで、原子爆弾の怖さや、無残な姿が伝わってき、気分が悪くなるほどでした。本当なら、怖くて、あまり向き合いたくないことです。でも、向き合わなければ、また同じことが起きてしまいます。原爆先生の話から分かりましたが、「原爆」ということに向き合うのは、とてもつらく、難しいことです。でも、原爆で亡くなったり、火傷を負ってしまった人達の苦しみや、悲しみを無駄にしないために、もう二度と同じことをくり返さないために、しっかりと向き合い、「原爆」について考えなければなりません。考えて、絶対原爆なんてことを起こさないようにします。そして、忘れてはならない原爆を伝えていきます。「原爆」という悲惨な出来事をあまり知らなかった私達に、原爆で生まれた恐怖や悲しみを教えてくださり、原爆について向き合い、考える機会をくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/14

私は今回初めて原爆の話をも深く勉強しました。
 今回の授業を受けました事があります。
 1つ目は、原爆での死者の数が思ったよりも多かった事です。
 広島市の人口に対して、死者の数が千人が死んでしまったとい
 うことがとても悲しくて、家族の方もつらいだろうな
 と思いました。2つ目は、7000℃の少年というタイトルの事
 です。最初は、7000℃？どういう意味？と思っていたけど
 話を聞いた時に、池田義三さんの話なんだと分かりました。
 7000℃は太陽よりも熱い事です。太陽が6000℃なので、
 それよりも熱い物が体に当たるととても苦しい思いをした
 という話を聞いた時、なみだが出て来ませんでした。
 3つ目は、もう絶対に戦争はしてはいけないという
 事です。今まで戦争をしてはいけないことは、して
 たけど、今回の授業で改めてダメなんだということを知
 りました。今も平和とは言えないけど、
 戦争の事をこれから産まれてくる子たちにも
 教えて、戦争のない平和な国を私達で作っ
 ていかなければいけないと分かりました！
 今日は教えていただき、ありがとうございました！！



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/19

ぼくは、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して、思ったことがたくさんあります。

しかし、たくさんお話しすると長くなるので、
一点だけお話しします。

その一点は、「奇跡」です。

ぼくがお話を聞いて、一番最初に思ったことが「奇跡」でした。

広島県の人には、いきなり原子爆弾が落ちてきて亡くなってしまった人もいます。

人はいつとどこで死ぬかがわかりません。

しかし自分たちは、生きています。

ほととはこれこそ奇跡ではないと思います。

「明日、生きていけるか死ぬかなんてたぶんわからず、
たのにあたりまよのように今日も草月をおかえた。
ありがたいと思う人はまっとう人のわすれがた
あたりまよを無くすときにやっとなで気がつく。
もしも自分が明日死ぬと分かっているなら今日と同じように生
きているだろうが、たぶん人の生きたから「今日」を生きている、何もなほら
今日も草月に満ちる。」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回のこの原爆先生の話しを聞いて、戦争は
 よくないと思いました。1つの火暴たんでそんなに
 多くの人か亡くなるなんて、びっくりしました。それにし
 う激派の死亡リッが一番びっくりしました。40%
 は5人に2人亡くなっています。この死亡リッが
 ないより一番びっくりしました。ほくは、戦争を
 も、なんのメリットがあるのかという疑問が残
 りました。ほくは、戦争をしても、デメリットしかない
 と思います。戦争をしても、ケ人かでる。亡くなる人が多
 せいいる。大切な人を失う。デメリットがこれだけ
 あるのに、それに対して、メリットなんて一つもない。
 戦争なんが、この世に存在しなかったら、どれだけの人
 か死なずに、すんだらるかと思ひ。

やっぱり「平和」がいいと思うか。

強 まりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日は、原爆先生が昔の広島と長崎に
原爆が落したという話をされました。

所々に、原爆先生が効果音つけていて、

とても想像しやすかったです。

タイトルは「7000℃の少年」というのでした。

先生はなんでこのタイトルにしたかは言っていない

でしたが話を聞いて、7000℃は太陽よりも1000℃高い

7000℃で原爆の中心は100万℃でした。そこにでてる

7000℃をタイトルに入れたんだと思います。

少年は広島に投下された原爆「リトルボーイ」というので

日本語になおすと「少年」と先生がいたので

それで、少年を入れたんだと思います。

前のをあわせると

「7000℃の少年」となります。

私は、このように作ったのかもしれませんが、

今日、聞いてとても分かりやすくなっていたので良かったです。

このようなことがまたあこぶないように

これから今日をきっかけとして、もしあったとしても、私は

何をできるかを考えて行動したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・あのような良い話を聞かせてもらい、あつがひろ
 ございました。ぼくは、先生の話を聞き、「これは
 あつては、なげない出来事、くソかえしやさない事。」のこつ
 を考えました。その考えた事は、リトル・ボーイによつて、
 たった一つの火暴弾によつて、たくさんの方が亡くなって
 しまい、みんなが苦しみをあじわってしまったあつては
 なげなかつた事。もう一度同じ事をやると、罪のない
 大勢の人が、亡くなり、また、たくさんの方が、悲しみ
 心に大きな傷を残してしまうくソかえしや、てはいい
 ない事。先生の話の題名は、「7000℃の少年でした。
 た。そして、「どうやら事が、考えてみる」と言われたのを心に
 止めて、聞き、話し終った時に、9000℃というのは、
 リトル・ボーイが、爆発した時の温度で、リトル・ボーイは、
 少年というわけだが、7000℃の少年という事に気づき
 ました。先生は、話している時に「だから平和がいい、や「だから
 戦争は止め」と言う事を言っていました。でも、しか
 けとその思いが伝わってきました。ぼく自身も、色々
 の人に、思いを伝えていきたいです。
 本当に、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話しをきいて、すごく、た
 せん、泣きました。ばくはつの声で、ひく。こ
 なって、そのあと、のはなしが、いたぐるしいよ
 うなが、人じがして、な人が、助かけをもとめている
 人の、うでを、ひ、はたら、くらりと、とれるところ
 が、すごく、そうそうしたたけと、こが、たて
 す。その、自分も、けがをして、いるのを、め、た
 で、けがをして、いる人を、おんざりして、もう、たつの
 におい、たえながら、ちが人と、最後まで、はこ
 へ、いたところも、すごく、いいな、な、な、な、と思
 いました。あと、おはなしのあとに、5分くらいの、
 動画でも、すごく、かんと、うしました。すごく、つらい、
 争いで、いろいろ、な人を、うして、このことを、き
 のうので、きこ、となじ、な、い、か、て、思、う、く、ら、い、め、ち、が、ち、が、
 くるしか、た、ん、た、な、て、と、思、い、ま、し、た。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受けて、こんなことを知りました。

一つは、簡単に言うと、「戦争」のことです。

最初は、先生がざっくりと説明をしてくれて、

どれくらい、恐いことなのかわかりました。

二つ目は、戦争で使われた道具や、当時の様子などを細かく

教えてくれました。昔は、戦争で亡くな、てしまう人が多く、

戦争が終わ、ても、病気に亡くな、てしま、た人が

多くいました。

私は、おじいちゃんも、おばあちゃんも、戦争をや、たことか、ないの

あまり戦争の話は聞きません。でも、おじいちゃんのお父さんが、

戦争で死んでしま、い、私はおどろきました。

わ、わり、戦争なんて、あ、てはいけないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回原爆先生の授業を受講して、

改めて戦争の怖さを知りました。

“リトルボーイ”という爆弾であんなに広い範囲に影響があるのは、とても怖いです。

そのリトルボーイが爆発したら直径200mもあるなんて思っていませんでした。

そして中心温度が100万度。周りも7000度と超高温。この話を聞いたとき、私は今回の代名。「7000°の少年」を思い出しました。意味が分かると怖いです。

話を聞いているうちに、戦争の恐ろしさがどんどん分かってきてもう絶対に戦争を起こしてはいけなと思いました。

私が今回の授業で感じたことは、「あたり前の日常の幸せさ」です。美味しいご飯が食べられること。

綺麗な布団で寝れること。友達と遊べること。

1717があたり前になっているけど、無くなってからその大切さに気付きます。なので私はその1717を大切にして生きていきたいです。今回は色々なことを教えてもらい本当に

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ありがとうございました!!



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

『7000℃の少年』原爆先生の特別授業で、最初にスクリーンに映し出されていた文字です。これがどういう意味なのかはじめは全く分かりませんでした。エラケイ、ラジオンテ、そしてリトルボーイ、これらはすべて原爆をとう下するためのものだと聞きました。その中のリトルボーイ、少年で『7000℃の少年』の意味が分かったような気がしました。原爆であるリトルボーイの表面温度は、太陽の6000℃という温度をこえ7000℃にもなるそうです。このリトルボーイの爆心直下は3~4000℃で物のかけがができないと聞きました。そこにいた人は、あっというまに炭化してしまふ...こんなにおそろしい原爆を二度とおきないよう、おこさないように、自分達にはにかかひえるか考えていきたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆がおちてきた時のことや、原爆について
とても知れました。前までは広島と長崎に音おちた
ということしか知りませんでした。けれども、昔のことで
今も大変な思いをしている人がいるのだとも知りました。
そして、陸軍の人たちは戦う場所に行くのだと思っ
ていたけれども原爆のおちた場所に行くと、た人を
必ず後よりほともしたり、ケガの手あてもしたりしていた
ことも初めて知りました。

他にもおとす場所の真上でおとすのではなく、

4km E はばれたところからおとっていたことや

エノラ・アゲイが お母さんの名前ということも初めて

知ったし、おちたけんばくの名前も初めて知りました。

そして原ばくもおとす15分前には京都がわかっていた

いたけれども、自分たちのことなども考えて

計画もしていたのもよく知りました。

私は戦争のことや原ばくのことについて知ら

なから、たけれども、やっぱりすごい大変だったのだと

あらためて知りました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

十月十九日にぼくたちの学校に原爆先生が来ました。そこで教わったのは、お父さんが言っていた原爆のすごさです。原爆は、広島と長崎に落ちました。原爆先生は、広島の方の原爆について紹介してくれました。

その原爆は平和に人々が暮らしているときに、急に、「ヒカーン」と赤く光ったそうです。お父さんが原爆が落ちた目的地に向かうと... こげてる人、手などが溶けてる人。皮がはがれてる人。熱で死んでいる人がいました。その原爆の力は、最低でも3000℃という高熱でした。一人の人は、コンクリートでできたおけの中で死んでしまっていました。

この原爆が次に十二時に落ちるという説が出ていて、お父さんは十二時になるのを待っていました。十二時になると小さく、「ドーン」という音が鳴ったそうです。

その原爆は長崎に落ちてしまいました。お父さんは、かたじけなくてしまったそうです... この話を聞いて、ぼくはもう二度と戦争をしたくないと思いました。

原爆先生へ

いそがしい中話に来て下さってありがとうございます。

戦争がこの先おこらないといいですね。お元気で...!



原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へ 先生はひょうげんや
小学6年生のみんなに核お礼ル
ボード原爆のこねさか'あかりました。
ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/22

今回は、ぼくたちのために来てくださり、ありがとうございます。
 ございませは、ぼくは受講して、気がついたことがあります。
 それは、原爆はこの世界に存在していけないということ
 です。なぜなら爆発部分の表面温度が太陽の表面
 温度(6000℃)を上回る7000℃ということでは。
 「太陽に近づくことしゅんで消える」と聞いたことがある
 ので、温度を上回る原爆を溶びた人たちは、
 灰どころか骨片もなく消えるということだからです。
 さらに人が人であるべき姿ではないということ
 です。
 遠くにいても(-km~二km)ひ皮がとけてしまう
 というまるでこの世のものとは思えない地獄
 のような状態ということが何も見ていない自分ら
 にでも分かってしまうこと、でもおそらく本物は思
 っているのところが、思考停止、直立下重かの何も
 できないものはず。
 これらの理由で「原爆はこの世にあってはならない
 とぼくは、考えました。
 今回は、このようなことを考えさせる機会をくださり、



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて思った事は、言葉や再現したもの
では表せないほど、戦争は悲惨なものなのだと感じる事だ。
原爆先生の話をきいていて自分は、原子爆弾が落とされた
場所や、人の皮ふがどろどろになっていた姿を想像していて
とても心が痛んだが、その現場にいた人は、自分が想像してい
る人の姿より、ひどいものを見たと思うし、人を狙われなくてすぐ
悲しんでいると思う。さらに、14万人もの人が亡くなってしまい、
原子爆弾はそれだけ力が強かったことが分かる。このようなことが
あっても、長崎にまた、原子爆弾が落とされてさらに、ひがいを受けたと
思う。このようなことをもう一度とならないように、戦争の悲惨や戦争は
してはいけないという事を後世に伝えていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、初めて戦争の話を聞いて想像以上に
こわいということを知りました。今からずーと前
のことなのに、まるでさっきの事のように話してい
たので、不思議だなあと思いました。

ビデオや図、写真などを見ながら、お話をし
てくださってとても分かりやすかったです。それ
と同時に、こわさも深まりました。

私は、ひばく者ではないのでその痛みなどは
分かりませんが、とてもこわいのだ、苦しいのだと
感じました。こんなにもすぐになくなってしま
う、とっぜん、終わってしまう、そんな事があったな
んととても悲しいです。改めて戦争は、とても
危険なんだと思いました。

きょうなお話ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業をとらして、おそろしいと思、た点
が2つあります。1つ目は、最初の1個目のばくだんが
飛んできた時です。先生は、実際に体験したかのように、
風の音、ばくはつの音を再現してくださり、聞いていた
私も、実際にその場に来たような感、かくになりました。
とてもおそろしいなと思、いました。

2つ目は、そのげんばくの温度です。げんばくの温度は、
太陽の温度より高い、7000℃なんです。そして、
さらに中心の温度は1万℃です。太陽よりあつい
物が急に自分におちてくると考えるととてもおそろ
しいです。「あつい」ではすまないでしょう、「もえて」し
うと思、います。おそろしいです。

私は先生の授業をとらしてこのようなことと思、いました。
先生は1回も、「平和がいい」とは言、ていませんでした。
それは、自分で考えることなのでしょう。私は、この2つの
おそろしいと思、った点から、「平和がいい」と思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、戦争の事実を知り、とてもおどろき、きょうふを感じました。戦争は、いきなり来るので、運で生きる、死ぬが分かれるんだなと思いました。だからよけいこわいと思いました。被爆者たちは、苦しみが死んでいったと思います。太陽と同じくらいの熱さの球が落ちてくるのは想像が出来ませんが、どのくらい熱いか分かりました。私は、戦争はやっていけない物だと思いません。戦争はやってはいけないというのは豆頁では分かっていたけれど、実際どんな様子だったか知らない。原爆先生の授業を受けて、表めて戦争ってだめだなと思いました。人を傷つけるからです。けど今もどこかで戦争は起きています。それを感じて、毎日過ごしていかうと思います。私はこの特別授業を受けてとても勉強になりました。なのでこれからも色々な人に戦争のこわさ、そして今の平和さ色々な事を教えていってほしいと思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、「戦争」と話を聞いて、戦争はどうゆうやつなのかな。と思、たり戦争は「けん」をつか、て戦争なのか。と思いました。原爆先生が来て、戦争の事を教えてくれて「原爆」がそこから、ふ、てきたという、事を聞いてそれがおちた所は「ながさき」・「広島」だったそうです。それで、「原爆」がそこにおちて「何万人」も亡くなって悲しいなと思いました。私たちの所におちてきたら、「何万人」も亡くな、ちゅうからここにおちてこなくよか、たけど、「ながさき」・「広島」におとされた人達は「かわいそうだな...」と思いました。私は「戦争？」をやるのが一番まらいいです。なぜかという、と、たくさんの人か亡くなるから「いばた」からです。人を亡くするのは「一番」ダメだと思、うから、戦争とかはやらない方が「いいな...」と思、って昔の人たちはもう戦争をしなかったから、もうしないようにしてもらいたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、

一番しんしょうにのこったのは原爆の温度
 です。太陽の温度が、6000℃で、それでも十分
 熱いのに原爆の温度は7000℃なのです。
 太陽がすぐちかくにくるようなかんじです。

とても恐しいです。

この原爆で何人も亡くなってしまったことは本当に恐しい
 です。

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、やはり
 戦争はしてはいけないなと思いました



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いてとてもおどろきました。1つ目のおどろきは原爆でのひかーいです。人が人ではないほうな...」と言ってそう言うところとこわくなり話を聞きたくなりおぼえていた。

2つ目のおどろきは、中身の温度がすごいしは、そんなに高くない^①と思っていたけど太陽よりも高いと聞いてびっくりおどろきました。そして地上からはなえているのに下にいる人が秒で反にならて家もやけてしまうと言われてゾッ!!としました。

このかわりにするよりおどろくもちわるかなけれどそれが実際にあったことだからすこしかたしい。

原爆先生へ

僕たちのためにあんな悲しい話をしてくれてありがとうございました。

昔であんなことがおきてたとしらしたからそれを聞くいい機会だたと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回原爆先生の話しをきいて、戦争のおそろしさを改めて知ることができました。私はたくさんの話しを聞いて、「怖い」という感情しかでてきませんでした。

人間のすがたをしていながら人達が、かれきまみれのはい色の世界、爆弾の音や衝撃など。広島や長崎にいた人たちは、どれだけつらく、くるしい思いをしたのか、私には想像もつきません。やけどをしてしまった人は、生きたりのに、いたく、くるしいというのはすごくつかかたと思います。また、太陽の表面温度よりも1000℃もたかかものか上にあるというのは怖いという言葉ではおさまらないくらい怖かたと思います。

私は「きれいすぎる」という1つの言葉が耳にのこりました。この言葉の意味は、もって服はほろほろで、もって顔や体は赤くて、ひふはとけてしまっているということだと思いました。でも、あの人形で「きれいすぎる」というのは、おそろしいと思いました。最後に、戦争はせつたりにしてはいけないと思いました。そしてこれからは、同じ宇宙に、同じ世界に、同じ生き物として、人間どうし仲良くしてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆」というものが元々、恐ろしいこととは分かってたけど今日の原爆の話聞いても恐ろしいものだとは分かった。先生の話を聞いて、その被害にあった人達の事を考えるに本当に辛い、胸が痛くなるような内容ばかりで本当に悲しい気持ちになった。私はもちろんだけれど、私にこういう経験をされたことがないし、どういった感じなのか、詳しくとは分かってないけれども、その時の写真を見て、先生の話を聞くに辛い怖かった。一番辛くて怖い思いをしているのはその被害にあった人達の人達。もういい自分の体が焼けて皮膚が溶けているのにも関わらず、兵隊の助けを求めて私を助けろということは何だかんだと私に言うことだとも思う。自分からまず、立ち上がる気力もない、助けを求めると言っているとも思う。他にも、今日は、原子爆弾のことについて詳しく知れた。原子爆弾投下都市の条件や、その速さなどその事について色々事が知れて良かったし、この特別授業を受け改めて原爆の怖さを知れたし色々な事を知ることが分かった。7000の少年、原子爆弾の歴史、などまた授業で話を聞いてないことがたくさんあると思うから一回だけでも読んでみたいと思う。私は原爆のことをも色々人達には知ってほしいと思う。話の内容は少し難しい所もあると思うけれども小さい子にも原爆は危険と言うことを知らせてあげたいし、色々な人の

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

人にこの怖さを知ってほしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いて、戦争は思
 ってたよりもずっとこおいと思いました。なせなら
 広島にはなった場所では、太陽よりも温度が
 高く、死亡率が40%もある原爆を落とすほどの殺意
 が戦争にはあると思えるものすごくこおいイ
 メーションがつかまりました。そして原爆のひた
 ーを受けた後にははじめても悲しい表現が
 ありました。1つ目は、したいを水おけから
 ひっかける時、かおがひっはるだけでびり
 びりがするのてしたいをて、きする人達には
 はじめてもおそろしかつたと思います、2つ目
 は、地面の底から助けを求め表現です。
 原爆にはまだおさなうもかんけいなくころさ
 たので、まだ生きたいなほど痛いから目かけと
 う思いで目かけを求めていたと思はした。
 このようお話を聞いて2度とこのお話を
 しなう世の中にならうと決まらうと思はした。
 原爆先生のおかげで、きょうお話を聞けい
 て原爆について知れたので決まらう。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・原爆の怖さをあらためて知りました。
 ・爆発の表面温度が、太陽よりも10000℃
 熱いことが分かった。とてもおどろきました。
 ・アメリカは、何で原爆を落としたんだろうと
 思いました。僕はその前にも日本が、アメリカ
 に何かをしたんじゃないかと思いましたが、もし
 そうだったとしても無馬気に命のうばうのは
 いけないうことであつたから僕は戦争兵器の
 ない、平和な世界を築きたいと思いました。
 このころは本で調べたり、資料館や原爆ドーム
 など被爆地を見たりして、戦争について
 考える機会を少しでも増やそうと思ひます。
 昔は、男の人は訓練をして、戦争の準備などを
 することが分かっておどろきました。日本には、自衛
 隊というのがあるけど、その自衛隊と同じ
 ようなものなのかよと思ひました。アメリカは、
 どうやって、あんな兵器を造ったんだろうと思
 ひました。もう、人が戦争をして死んで
 ほしくないと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、改めて、
原爆のこわさを知りました。

リトルボーイが広島に落とされて、死亡率40%
と聞いたときは、あまりびっくりしませんでしたか、

5人2人が死んでしまつて、ゾッとしました。

京都が原爆を落とされそうになったとき、
言話を聞いて、初めて知りました。

原爆される都市の条件があると知りました。

標的となった広島と長崎に往んでいた人たちは、
とてもかわいそうだと思いましたが近隣

の人々も何かしらの被害にあつたと思います。

広島の人口35万のうち、死亡者14万人、

被爆者24万人は、軽度のものであれば重しょう

の人も多い。多くの被害の中、残された原爆ドーム
は、ほっと度見なほかいのかたと思つた。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんが原爆を体験した話を聞いて、特に心に残っているのが爆心地に近づく程、ひたひたして来る人が人間じゃなくなっていた。と言っていたことと、原爆資料館の人形に対してきれいすぎる。と言だけ言ったという所です。落とされた原爆の名前はリトルボーイ。直訳すると小さい子という意味になった。話の題名は7000℃の少年。原爆の表面温度も約7000℃で中心部になると100万℃にまでなるそう。太陽の表面温度が6000℃くらいだから原爆は、太陽より、さらに1000℃高い温度で高度600mの所あたりで爆発したそう。想像するだけでも恐ろしいと思、た。原爆を投下したエノラ・ゲイに乗っている人も原爆の111倍におどろいたと言、ているかがものすごい爆破だ、なんだと思、う。階段で仕事場が開くのを待、ていた人は、一瞬間で黒いかけのシミにたがった位のいりょくたそう。地面の表面温度は一瞬間で3000℃になりコンクリートが瓦礫を除く全ての物がとけ、空気がほうちょうし真空状態になり上り気流ができて、原爆雲ができた。このような事は今後、あ、てはならない事だと思、う。そして広島原爆で亡くな、た人に安らかに眠、ってほしいと思、います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、原爆の知らないことばかりで、改めて原爆は怖いなと思えた。今まで、原爆というのは人の命をおとすものだと思えた。それ以外、深く考えていなかった。でも、今日の原爆先生の話を聞いて、原爆は人の命をおとすだけではないと気づいて、50mははれて、きつめに原爆を受けなくて、火の竜巻がいのをおとし、それで大平の人の命をおとすということも分かった。原爆がただなくて良か、と少しの油断で命をおとしてしまう。私も、この時、たまたま油断してなかったから、原爆はそういう所が危ないと思えた。それだけではない、原爆は1秒にして、大勢の人の命をおとしてしまうと今日とよく分かった。

原爆は1つ落としただけで、何百人の命をうばい、原爆はもう2つ3つ落とされてから...と思うと原爆はものすごく怖いのだと思えた。他に私は原爆の太陽の表面より1000℃も熱い、1分てとてむくりにした。私も私は原爆の何かに比べて考えた。これは怖いな。でも太陽まで熱くはないかなと特別授業の232目で考えた、しかしその考えは的中せなかった。原爆先生が122目でいかに怖いなと分かったと言った。最初には信じられなかった。原爆は1000℃で流れてくると考えたから分かってしまった。原爆、本当に怖いなと思えた。特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆の怖さ
 ひびさんさを知りました。私は、テレビで、広島と長崎に
 原爆が落ちたことは知っていました。ですが、今日の授業
 でも、と糸田かく原爆の話を聞けてすごく興味深
 かったです。それは、興味深いといってもいやな意味です。

原爆が爆発した後のトラックに向かて手をのばす
 被爆者達を思いつかべると、体調が悪くなりました。
 他の人達も顔に表さなかつただけで、そういう気持ちにな、た人も
 いたのではないのでしょうか。 原爆の放射能により原因

不明の体調不良になる 原爆症と何十年もたつたか、
 てきた人達は、本当に勇敢だと思います。

このひさんな戦争をくり返さないために、ただただ
 平和、平和と言っているだけでなくあれから70年
 以上もたつているのだから世界も大きく変つてきていると思
 います。なので、現在の世界にあたり方で戦争をくり
 返さないようにしていくのが今を生きる私達の言課
 題だと思っています。私も18才からは、選挙にちゃんと行って
 人まかせにせず、政治について考え、政治に参加してい
 こうと考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆の話を聞いて
とてもびっくりしました。な
ぜかというと、人の皮がむけたり、
全身体が真っ赤だったり、からだ全
体がやけてたり、やけどもしては
いたからです。あとは、原子爆弾
を落とされて、とてもかわいそうだ
ったからです。あと、ぼくは戦争
は悲しいものだと思います。
なぜかというと、人が目の前
で殺されたり、木が倒すけりだ
たすけて。たすけて。と言ってと
てもかわいそうだと思います。

あとは、原子爆弾の表面温
度は7000℃中の温度は100万℃
ということを知りました。

あとは、7000℃の少年とか
だれもおしえてくれないから原
子爆弾の歴史を売ってみたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この話をきいてせん そうはこわい
思いました。理由は死者が14万人って
のでこわいと思いました。ひふがやけて
いたそうだなとすごく思いました。

それだけせん そうは太変なたなと休
馬金できてす、ごくよかったです。この90
分間のお話で、ぼくはとても成長
しました。理由は、たくんをよをと
れたからです。昔たらたら、よをとか
とれなかったのに今日はたくんをとれた
ので成長できたなと思いました。後、本とか
インターネットを使たいして色々知りた
いなと思いました。(原爆の事)

ぼくも広島に行ったら原爆ドームに行
き「あーこういう風なんだな」と感じて
みたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争をはいけんしていないのでどれほど悲さんで
みにくいものなのかもよく知りませんでした。しかし先生の話を
聞いて悲さんであり忘れをはいけない人間の歴史だと思
いました。また私は社会で人間は、たったすこしと習い
ました。そんな人間が戦争や原子爆だんなどで同じ種
族を殺し合うのはとてもみにくい行為だと思
います。私は夏休みの自由研究で原爆についてし
らべましたが先生の話を聞いてこんなやさしいも
のではなかつたんだと思いました。

私は将来の夢は医者ですが原爆症を治せるよ
うな医者になりたいです。

こんな悲さんな話を私たちに聞かせるため
に時間をさいていただきありがとうございます
しました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話しを聞いて、
悲しくさんごくだと思いました。なぜ
かとゆうと、池田さんのお父さんが、
実際に原爆ドームになる前の戸ケに
いて、ドーン！という声はおどろい
たけど、原爆かよかされたとき気
がついたら、10mふまとはされた
とっついていたのです。いしやげきたっ
たんだ、と思いました。しかも池田
さんの父は、無事ですっていいだけ
であれで、ケがしてないのがとても
すごいと思いました。しかもぼ
くはついたら地上が3000℃で回
りが7000℃で中心が100万℃って
いうのが、すごくおどろきました。し
かも人間でも人間じゃ無いとい
ってたけどぐちゃぐちゃだったと思
いました。最後におどろいたのは
太陽よりあついというのに、おどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、初めて広島で起こった
原爆の話を書いておどろきと
怖い気分でした。おどろいた事は
原爆の温度は、あの熱い太陽より
温度が高い。聞いた時におどろきました。
次に怖いと思つた所は、広島市の
人口は35万人で、死者数は14万人
と約半分くらいの方が亡くなっていると
知って体がゾクゾクとして、すごく怖く
なりました。今日ぼくは、話を聞いて
見て、すごく広島原爆はどんなに
たんだらう、とあぐらひの人かてばに
しまったのたうとあぐらひになつて
いて、今日の話を聞いてあぐらひは
下の第とか、いここにこの事を教えて
来未になつて、戦争というものは
おそろしいという事をぼくも伝えてみたい
と思つました。このたびは、いそがしい中、
ぼく達に教えていただきありがとうございます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いて昔はこんなにこわいことがあつたかと今日知りました。他えは死者数が14万人が亡くなつたのが悲しいです。原子爆弾がなければ14万人も亡くななかつたと思います。あともう一つあります。原子爆弾のせいで原爆ドームが破壊しちゆうぐらいのいきおいたとはじめて知りました。

ぼくはぼくだんは人も亡くなつてまうからこわいこわくなりました。しかも死亡率が40パーセントを聞いてほぼ半分の確率で亡くなつてしまふことが分かりました。このしやうをみると原爆ドームは外からみたらすこいきれいだったが原子はとだんは投げてぼくはありませんでした。ぼくはおどろいたことがありません。飛行機に4つのリボルボーイを中に入れて飛んだのがおどろきました。あともう一つあります。飛行機がリボルボーイは4km手前だけおとして下に行くと思つたら横に行きながら下を行くのにおどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回、原爆先生の授業を受講して、戦争の大変さ
 を知りました。実際に資料を用意してくれてとても
 分かりやすかったです。私には戦争を経験してい
 ないので、実際にどんな苦しみや悲しみに溢れて
 いたのかは分かりませんが、「悲しい」では表すこと
 のできない思い、そして今も苦しんでいる人がい
 るなかで私がふつうに生活していることは、当たり前
 前ではないことに気付かされました。私は、
 原爆の温度が7000℃なことには、とても想像も
 できないくらいおどろきました。もし私が突然
 7000℃もの熱いものが落ちていると思うと鳥肌が
 とまりません。そして私は原爆先生が話してい
 た当事者の助けをあげたくても、皮膚がたか下か
 けてはいくらも落ちて助けをあげられないという
 気持ちにババ痛くなりました。戦争は、
 「可哀想」では終わらせられないほどの大変さを知
 りました。私の豊かな生活は当たり前前ではな
 かった。この間はわざわざ足を運んでまで、
 戦争について教えてくれて本当にありがとうございました。



原爆先生の特^{じゆこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受けて、前は原爆についてぜんぜん知らなかつたけど、授業を受けて、原爆のおそろしさや怖さか分かった。原爆は、広島だけにおこっていたと思っていたけど、長崎県でもおこっていたと知りておどろいた。

原爆がばくはつして、やけどをした人達が池田義三さんなどに、「助けて」と言、て全員をたすけられなかつたころか私は、一番、話を聞いていて「かわいそうだなあ」と思いました。「かわいそう」と思、ても、私が池田さん達だ、たら怖くて助けられな、いと思、いました。

原爆で、広島の人か5人に2人がせな、っているとき、おどろきました。

死亡率40%、人口35万人、被爆者数24万人、死者数14万人で、人口の約半分の人か原爆症にかか、てせな、てしま、たところが「かわいそうだなあ」と思、いました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業で、自分がその場所にいたような
感覚で授業を受けました。原爆先生が、
原子爆弾の音を再現してくれて、その音で
当時の人たちは小布がたたるなとかんじました。
そして、原子爆弾で、爆弾を落とす所には候補
があって、しかも6人も候補があってびっくりしました。
そして、エラケイの名前がお母さんの名前でおど
ろきました。そして、爆弾のあつさが7000°もあって、
太陽よりもあついことを知っておどろきました。
そして、その爆弾の死亡率が40%もあって、
5人に1人というのかおどろきました。
そして、そんな中で、池田義三士などの兵隊さん
が死体などを、一生懸命運んできたという
エピソードを聞いて、かっこいいと思いました。
今日の授業で原爆の怖さを知れまし、いろいろ
なことについて知れました。原爆の先生
が分かりやすく教えてくれたので、とても
分かりやすかったです。今日はお忙しい中
来て授業してくださってありがとうございました！



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日原爆先生のお話しを聞いて
 思った事が2つあります。1つ目は爆発した時の
 大きさです。資料を見ると長さは200m。中
 心は100万℃、表面は7000℃、地面は3000℃
 私はこの事を聞いて震えました。想像する
 と、とりはだか立って今にも呼吸ができなく
 なりそうでした。お話しして太陽が6000℃、
 私の600m上に太陽があるとほぼ同じで、
 原爆の破かい力は表現できないと思っ
 ます。2つ目は、画像で見た屋内の階段
 で座っていた人が、爆発で炭だけになっ
 しまった事を聞いて、想像もできなかつ
 ます。どうやら炭だけになるのか、その
 時原爆のおそろしさを知りました。私は
 祖父祖母に戦争のお話を聞いています。で
 も今日こんなに細かくじっくりお話しが聞
 けてとても貴重な時間でした。今日のお
 話しをせ、たいに忘れないように頭にた
 たきこみます。とてもとても貴重な時間でした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

。私は原爆ゲームは 未来の世界に
核兵器を不必要だと

世界の人々に警告する記念碑だと
思った。

。「きれいすぎる」という意味は 原爆を受けた人々
はもと 展示されている人形よりも
ひどい傷を受けているのではないかと
思った。

。私が平和な未来のためにできる
のは、自分の周りの人に優しく
接することだと考える。

そうすることで周りの人も優しい
気持ちになり、それが広がって
いって平和な未来につながる
と思う。調べてみて国連のユネスコ
憲章には、「戦争は人の心の中
で生まれる」と記されている。
ということから。

。もっと原爆のことについて知りたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の授業を受け、とても恐ろしかった。理由は、病気などで世あちう人は、とても多いけど、原爆は、一瞬で、何十万人の人たちの命を奪ってしまうから。この世には、悪い人で、人の命を奪う人もいますが、原子爆弾は、町を一つ壊す以上の威力をもっている。なので、とても危険。爆発範囲もとても広く、逃げることができなくなります。逃げることができなくなる理由は、原子爆弾が降ってくるのが分かったら、みんないっしょに逃げようとして、渋滞などが起こるから。この目は、爆発範囲から逃がれても、衝撃波などからは逃がられないから。僕は、原爆のことを知って、人の一人一人の命を大切にしてほしいと思いました。そもそも、人にも、家遊や大切な人がいるし、こうやって原爆で、つまに人の命を奪ってしまうのは、絶対にしてはいけません。これからは、人の命を大切に扱ってほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の言告を聞いてまず思ったことは、死亡率が40%ってめちゃくちゃ多いと思いました。ほぼ広島県民が死んでいると思いました。あと侯補になった都市が京者だということが分かりました。あと次に、原火暴が落ちる前は広島原爆ドームじゃなく広島県産業奨励館だということが分かりました。あと、僅に撃波の速さが毎秒440m(音速は340m/秒)だということが矢口なからたけど資料を見て分かりました。広島市人口35万人で被火暴者数24万人死者数14万人死亡率40%ってかなりの大きな数だと思いました。次に広島に投下された原火暴「リトルボーイ」の重さが約47tってすごい数だと思いました。今回の授業を通じて分かった事は、広島県民や長崎県民の方達はとても大変な思いをしたことが分かりました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いてや、
ぱり戦争や原爆は怖いということ
を体感できました。教科書や本でもた
まに戦争や原爆の話を聞いたこと
がありましたが、原爆先生は言葉で
話してもらったので、より深く心
に響きました。また、原爆先生のお
父さんが、じごくのような場所で約
一週も人を助けたり、七人な
た人を火あうしたりして、人のた
めに必死で仕事をしていたことに
感動し、とてもすごいなと思いま
した。ぼくなら立ち直れずにずっ
と泣いていたと思います。ぼくは
これから人々が戦争や原爆から
おそれるような世界には、糸色
対にいたくありません。なので
戦争や原爆を世界からなくす活
動へ積極的に参加をしていき、世
界を平和に、そして人のためにな
るようなことをやっていきたい
と思います。